

令和3年度

公立大学法人会津大学の業務の実績に関する評価結果

令和4年9月

福島県公立大学法人評価委員会

公立大学法人会津大学の令和3年度業務の実績に関する評価結果（年度評価）

第1 「全体評価」

第3期中期目標期間の4年度目となる令和3年度の業務実績について、公立大学法人会津大学（以下「法人」という。）による自己評価は次のとおりである。

全項目（171項目）

「A：年度計画を上回って実施している」 44項目（25.7%）

「B：年度計画を予定どおりに実施している」 124項目（72.5%）

「C：年度計画を下回って実施している」 3項目（1.8%）

「D：年度計画を大幅に下回って実施している」 0項目（0%）

法人は、第3期中期目標の達成に向けて、教育、研究、国際化、地域貢献及び復興支援等に積極的に取り組み、理事長のリーダーシップの下、成果を出している。特に、東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故からの復興や地方創生に寄与するための取組は高く評価できる。

令和3年度の業務実績（項目別評価）は以下のとおりである。

	十分に実施	おおむね実施	下回って実施	大幅に下回る
教育研究等の質の向上	○			
教育	○			
研究	○			
国際化	○			
地域貢献・東日本大震災等の復興支援	○			
地域社会との連携・協力	○			
地域産業の振興	○			
復興支援	○			
管理運営の改善及び効率化		○		
業務運営の改善、効率化		○		
財務内容の改善		○		
自己点検・評価等		○		
その他業務運営		○		

1 会津大学

会津大学（以下「四大」という。）は、コンピュータ理工学の分野において国内外で活躍できる優秀な研究者及び技術者の育成はもとより、起業家精神を持つ人材の育成にも努めている。さらに、留学生の受入れや文部科学省スーパーグローバル大学創成支援事業等による国際化にも積極的に取り組んでいる。

また、福島ロボットテストフィールドを拠点に実施している浜通り地域におけるロボット産業への産学官連携、県立医科大学との連携による県民健康調査への協力、先端ICT技術に携わる人材育成事業、大学発ベンチャー企業の創出等、新たな産業の創出及び雇用の拡大のために積極的に取り組んでおり、本県の復興

と地方創生に貢献していることについて高く評価できる。

2 会津大学短期大学部

会津大学短期大学部（以下「短大」という。）では、経営、デザイン、情報、栄養、食品、健康、福祉、保育、幼児教育等の専門分野の知識や技術を身につけ地域貢献ができる職業人の育成に取り組んでいる。

また、優秀な学生の確保に向けた新たな入試制度の導入、産学官民との協働・連携、学生参画型実学・実践教育、派遣講座・公開講座、復興支援のための活動、学生へのきめ細やかな生活相談等に積極的に取り組んでおり、高く評価できる。

第2 「項目別評価」

1 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

【評価】「I：年度計画を十分に実施できている」と認められる。

(1) 教育に関する目標を達成するための措置

【評価】「I：年度計画を十分に実施できている」と認められる。

【令和3年度で特に評価できる取組◎、評価できる取組○、検討課題等△】

(四大)

- ① ○ 一般入試の志願倍率が5.2倍となり、目標の5.0倍を達成した。
- ② ○ 女子入学生増加に向け、高校訪問や卒業後の多様な働き方を取り上げたパンフレット作成等、広報活動に努め、入学者に対する女子学生の割合が10.2%となり、目標である10%を達成した。
- ③ ○ 大学院進学フェアの開催や他大学・高等専門学校へのPR活動の他、大学院進学の特典等に関する情報提供を学部1年次から実施する等、広報活動に努め、大学院博士前期課程の定員充足率は65.8%となり、目標である70%をおおむね達成した。
- ④ ○ 学部3年次への進級要件の一つであるTOEIC®400点以上という基準を踏まえ、夏季休業中の集中講義に加え、グローバル推進本部と語学センターの協力のもとキャンペーンを実施する等、英語力育成に取り組んだ結果、学部2年次終了までに84.7%の学生がTOEIC®400点以上を取得した。
- ⑤ ○ 成績不振学生の発生を抑えるため、早期把握、注意喚起、学生及び保護者との個別面談、修学支援体制の強化等に努めた。
また、学生の健全な食生活や、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う生活環境の大きな変化等に配慮するため、学生食堂において朝8時から朝食の提供をしていることは評価できる。
- ⑥ ○ 英語のみで入学から学部卒業まで可能となる「ICTグローバルプログラム全英語コース」の広報に取り組んだことにより、日本人在籍者も年々増加し、在籍人数が76人（留学生44人、日本人学生32人）となり、目標である77人をおおむね達成した。
- ⑦ ○ 県内就職を希望する学生に対し、求人情報の提供や県内企業見学会等

を実施した。

- ⑧ ○ 女性教員1名を採用し、年度目標を達成した。今後は、中期計画の目標である女性教員数の割合10%の早期達成や目標以上の達成も視野に入れた取組みを期待する。

(短大)

- ① ◎ 優れた入学者の確保に向け、オープンキャンパスの開催や、紹介動画の公開、総合型選抜試験の導入等により、志願倍率が2.7倍となり、目標である2.0倍を達成した。
- ② ○ 各学科において資格取得に向けた支援を行い、下記のとおり、資格取得希望者の取得率は、目標である100%をおおむね達成した。

産業情報学科	色彩検定88.0%、2級建築士受験資格100%
食物栄養学科	栄養士免許資格100%、フードスペシャリスト資格認定試験受験資格100%、NR・サプリメントアドバイザー認定試験受験資格100%
幼児教育学科	幼稚園教諭二種免許100%、保育士資格100%

- ③ ○ 免許資格関連職への就職率について、目標をおおむね達成した。
- 食物栄養学科 実績 77.8% (目標 80%)
幼児教育学科 実績 97.8% (目標 95%)
- ④ ◎ 学生相談員会研修会を開催する等、学生相談に組織的に取り組み、学生からの相談2,830件に対応した。
- ⑤ ◎ 学生寮(一箕寮)の生活環境改善のため、入寮生の意見や現状を確認し、食堂空調機・冷蔵庫・洗面台の入替え、各室LED照明の更新等を実施した。

(共通)

- ① ○ キャリア教育、進路希望の把握、学生との個別面談等、きめ細やかな支援に努めたことにより、高い就職率を維持できた。
- 四大(大学院) 実績 100% (目標100%)
四大(学部) 実績 99.2% (目標100%)
短大 実績 98.3% (目標100%)
- ② ○ 学生支援として、授業料減免制度の継続実施の他、会津大学学生生活支援基金の活用による給付金支給に加え、学内で使用できるプリペイドカードの支給や、メンタルヘルス支援等を行った。

(2) 研究に関する目標を達成するための措置

【評価】「I：年度計画を十分に実施できている」と認められる。

[令和3年度で特に評価できる取組◎、評価できる取組○、検討課題等△]

- ① ◎ 四大では、先駆的な研究の推進や社会ニーズに応えるための研究クラスター(研究テーマに応じて組織的なチームで研究を行う取組)の論文発表やフォーラムの開催等、学内外の交流による相乗効果を得るとともに、新たなクラスターの設置による研究活動の更なる活性化を図った。

- ② ○ 四大では、著名学術誌に論文が掲載される等、下記の実績を達成した。
- | | | | | |
|-----------|----|--------|-----|---------|
| 主要学術論文採択数 | 実績 | 303件 | (目標 | 300件) |
| 学術論文被引用件数 | 実績 | 5,872件 | (目標 | 3,000件) |
| 科研費新規採択率 | 実績 | 20.0% | (目標 | 30%) |
| 特許出願件数 | 実績 | 10件 | (目標 | 10件) |
- 会津大学で開催する国際会議等に対する費用支援 実績3件
- ③ △ 短大では、地域実践研究等を通じて研究成果を地域社会へ還元したが、新型コロナウイルス感染症の影響により人的交流が制限されたことから、公表された研究活動数が73件となり、目標である100件を達成できなかった。
- ④ ◎ 積極的に産学官連携を推進し、外部資金獲得のため学内連携に努め、下記のとおり目標を大幅に上回った。また、技術展示会へ出展し、知的財産の活用にも力を入れている。
- | | | | | |
|------------|----|-------|-----|--------|
| 公募型研究費獲得件数 | 実績 | 94件 | (目標 | 50件) |
| 外部資金獲得額 | 実績 | 3.4億円 | (目標 | 1.5億円) |

(3) 国際化に関する目標を達成するための措置

【評価】「I：年度計画を十分に実施できている」と認められる。

[令和3年度で特に評価できる取組◎、評価できる取組○、検討課題等△]

- ① ◎ 外国人留学生の割合が11.7%となり、目標である6.3%を達成した。
- ② ○ 日本人学生の留学経験者数50名という計画に対して、新型コロナウイルス感染症の影響により海外渡航できない状況であったことから、オンラインによる代替プログラムを提供し、47名が参加した。

2 地域貢献・東日本大震災等の復興支援に関する目標を達成するためにとるべき措置

【評価】「I：年度計画を十分に実施できている」と認められる。

(1) 地域社会等との連携・協力に関する目標を達成するための措置

【評価】「I：年度計画を十分に実施できている」と認められる。

[令和3年度で特に評価できる取組◎、評価できる取組○、検討課題等△]

- ① ◎ 公開講座及び教員派遣講座を下記のとおり実施し、法人が持つ知的資源を地域社会へ還元した。(オンライン開催も含む)

	公開講座	教員派遣講座
四大	14件	33件
短大	5件	161件

- ② ○ 四大では、会津学鳳高校を始め県内の中学・高校に教員を派遣し、英語や理数系科目の学力向上及び国際化支援に努めた。
- ③ ○ 四大では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を踏まえ、「パソコ

ン甲子園2021」をオンラインで開催した。オンライン開催にも関わらず、全国から1,716名の高校生等が参加した。

- ④ ◎ 四大では、県立医科大学との共同研究を2件、民間企業等との医療・保健分野における共同研究等を3件実施した。また、メディカルクリエーションふくしま等で技術展示を実施した。
- ⑤ ◎ 四大では、ワールドロボットサミット2020（経済産業省等が主催するロボット技術やアイデアを競う世界大会）において、会津大学と連携企業で編成した2チームがそれぞれ3位入賞を取ることができた。
- ⑥ ○ 四大では、助言活動等を通じ、県内自治体のDX化を支援した。
- ⑦ ◎ 短大では、地方自治体等からの委託事業を積極的に受け入れ、地域との連携・協働を27件実施し、目標である20件を達成した。

(2) 地域産業の振興に関する目標を達成するための措置

【評価】「I：年度計画を十分に実施できている」と認められる。

【令和3年度で特に評価できる取組◎、評価できる取組○、検討課題等△】

- ① ◎ 学生ベンチャーを含む大学発ベンチャー企業を新たに3社認定し、目標である2社認定を達成した。
- ② ◎ 県内外の企業等が求める技術相談や意見交換を行う「会津オープンイノベーション会議（通称AOI会議）」を311回開催し、共同研究や事業化につなげる等、産業振興と地域課題解決に貢献した。

(3) 復興支援に関する目標を達成するための措置

【評価】「I：年度計画を十分に実施できている」と認められる。

【令和3年度で特に評価できる取組◎、評価できる取組○、検討課題等△】

- ① ◎ 四大では、「会津大学ロボットテストフィールド研究センター」（南相馬市の福島ロボットテストフィールド内）を中心に継続して実施してきた南相馬市内の高校、地元企業、自治体等と連携した人材育成及び産業振興の取組が評価され、アカデミアコンソーシアムふくしまより大学間連携功労者表彰を受けた。また、高校生等の就職先として地元企業の紹介等も実施し、地域の復興を支援した。
- ② ◎ 四大では、「女性のためのITキャリアアップ塾」を開催し、92名にプログラミング等の学習機会を提供し、48名の就労に貢献した。
- ③ ◎ 四大では、会津若松市や企業等と連携し、会津若松市のスーパーシティ構想の推進に貢献した。また、民間企業との連携協定に基づく5Gを活用した研究促進や人材育成等に取り組んだ。
- ④ ○ 四大では、福島県警察本部のサイバー犯罪対策アドバイザーとして助言を行う等、サイバー犯罪の防止に協力している。
- ⑤ ○ 短大では、引き続き大熊町立小・中学校に講師を派遣するとともに、学校行事等のために施設を開放した。また、被災市町村及び帰還住民を対象とした復興支援のための活動を7件実施し、目標である5件を達成した。

3 管理運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置

【評価】「Ⅱ：年度計画をおおむね実施できている」と認められる。

(1) 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置

【評価】「Ⅱ：年度計画をおおむね実施できている」と認められる。

【令和3年度で特に評価できる取組◎、評価できる取組○、検討課題等△】

- ① ○ 法人職員について、採用方針に基づき社会人枠で3名採用し、法人職員割合が45.0%となり目標を達成した。
- ② ◎ 事務処理の効率化を図るため、庶務関係の届出について電子申請できるシステム（ワークフローシステム）の導入作業を進めた。

(2) 財務内容の改善に関する目標を達成するための措置

【評価】「Ⅱ：年度計画をおおむね実施できている」と認められる。

【令和3年度で特に評価できる取組◎、評価できる取組○、検討課題等△】

- ① ◎ 産学イノベーションセンターや先端ICTラボの施設貸出しが満室となり、産学イノベーションセンターの研究開発室を1室増室した。また、両施設の使用料収入は2,990万円となり、年度計画を上回った。
- ② ○ 四大では、地元経済団体と連携して募集した会津大学学生生活支援寄附金を活用し、学生への経済的支援を実施した。また、会津若松市や民間企業等から10件、合計2,970万円の奨学寄附金を受け入れ、教員の研究費用の確保に努めた。
- ③ ○ 短大では、積極的に紅翔奨学金の活用方法を周知し、広く寄附を募るとともに、学生表彰規程に基づき12名の学生に奨学金を支給した。

(3) 自己点検・評価及び情報の提供に関する目標を達成するための措置

【評価】「Ⅱ：年度計画をおおむね実施できている」と認められる。

【令和3年度で特に評価できる取組◎、評価できる取組○、検討課題等△】

- ① ○ 教員評価システムに関して、システム全体のデータ可視化手法について検討を行なった。

(4) その他業務運営に関する目標を達成するための措置

【評価】「Ⅱ：年度計画をおおむね実施できている」と認められる。

【令和3年度で特に評価できる取組◎、評価できる取組○、検討課題等△】

- ① ◎ 計画していた施設改修に加え、法定点検により修繕が必要となった箇所についても、工事対象範囲に追加する等、教育環境の安全・安心の確保のため年度計画を上回って施設改修を実施した。
- ② ○ 短大では、図書館活用方法に関するワークショップやイベントを開催する等、図書館の利活用促進に努めた結果、入館者数は22,970名となり、過去10年間で最多となった。
- ③ ○ コンプライアンス遵守のための研修や研究不正防止規定の改定を行った。なお、教職員及び学生への研究倫理教育について、継続して取り組む必要がある。

2 項目別評価 総括表

公立大学法人会津大学

評価項目		公立大学法人自己評価								評価委員会評価	
		年度計画達成の状況								項目別評価	評価における特記事項
第1	大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置	A	24	B	79	C	2	D	0	I	/
		A	14	B	56	C	1	D	0		
		(会津大学) 全体的に年度計画どおりに取り組み、ほぼ予定した成果を上げることができた。									
		A	7	B	19	C	1	D	0		
		(会津大学短期大学部) 全体的に年度計画どおりに取り組み、ほぼ予定した成果を上げることができた。									
		A	3	B	4	C	0	D	0		
		(四大・短大共通) 全体的に年度計画どおりに取り組み、ほぼ予定した成果を上げることができた。									
1	教育に関する目標を達成するための措置	A	15	B	66	C	0	D	0	I	/
		A	7	B	46	C	0	D	0		
		(会津大学) 全体的に年度計画どおりに取り組み、ほぼ予定した成果を上げることができた。									
		A	7	B	18	C	0	D	0		
		(会津大学短期大学部) 全体的に年度計画どおりに取り組み、ほぼ予定した成果を上げることができた。									
		A	1	B	2	C	0	D	0		
		(四大・短大共通) 全体的に年度計画どおりに取り組み、ほぼ予定した成果を上げることができた。									
(1)	入学者受入方針及び入試制度に関する目標を達成するための措置	A	8	B	12	C	0	D	0	I	【会津大学】 女子学生と協力して大学案内別冊を制作する等、広報活動に努め、入学者に対する女子学生の割合が10.2%となった。
		A	4	B	10	C	0	D	0		
		(会津大学) 大学が求める入学者確保のため、積極的な高校訪問などの取組を計画どおり実施した。一般入試の志願倍率は目標値を上回った。また、女子学生の割合は目標の10%に達した。									
		A	4	B	2	C	0	D	0		
		(会津大学短期大学部) 大学が求める入学者確保のため、入学者受入方針の周知、積極的な高校訪問、受験者アンケートを踏まえた広報改善などの取組を計画どおり実施し、一般入試の志願倍率は目標値を上回った。									
(2)	教育内容及び教育の成果等に関する目標を達成するための措置	A	1	B	33	C	0	D	0	II	【会津大学】 英語能力の育成に学内全体で取り組んでおり、TOEIC®要件だけを満たさずに進級できなかった学生は1名となった。
		A	1	B	24	C	0	D	0		
		(会津大学) 大学が育成を目指す人物像を理解してもらうため、学位授与方針、教育課程・実施方針の周知・検証や、4学期制の継続、シラバスの英語化などの取組を計画どおり実施した。ICTグローバルプログラム全英語コースの在籍数、英語による授業科目数などは目標値を上回る実績となった。									
		A	0	B	9	C	0	D	0		
		(会津大学短期大学部) 大学が育成を目指す人物像を理解してもらうため、学位授与方針、教育課程・実施方針の周知・検証などの取組を計画どおり実施した。免許・資格取得希望者の取得率及び資格等取得者の資格関連職への就職率はほぼ計画どおりの実績となった。									
		【会津大学短期大学部】 産業情報学科において、資格取得に関わる必修科目の講義内容等を見直した。									

(3)	教育の実施体制等に関する目標を達成するための措置	A	2	B	9	C	0	D	0	II	【会津大学】 教室端末の更新、フリーソフトウェアの整備、学外からの遠隔利用等、情報通信環境の整備に努めた。 【会津大学短期大学部】 シラバス充実のため、外部講師による教員向け研修会を実施した。		
		A	0	B	5	C	0	D	0				
		(会津大学) 施設や機器の環境整備、教員研修、教員の国際公募による採用などの取組を計画どおり実施した。外国人及び外国の大学で学位を取得した専任教員等の割合及び女性教員数はほぼ計画どおりの実績となった。											
		A	1	B	2	C	0	D	0				
		(会津大学短期大学部) 次期学内ネットワークシステムのリプレイスに向けた検討を行うとともに、実習機器の更新整備などの取組を計画どおり実施した。											
		A	1	B	2	C	0	D	0				
(4)	学生への支援に関する目標を達成するための措置	A	4	B	12	C	0	D	0	I	【会津大学】 成績不振学生及び保護者と定期面談し、担当職員による面談件数は111件となった。 【会津大学短期大学部】 学生相談に努め、オフィスアワーの相談件数が124件、その他相談件数が2,706件となった。		
		A	2	B	7	C	0	D	0				
		(会津大学) 学生支援に関する方針の検討、全学生への担当教員の配置、就職支援などの取組を計画どおり実施した。新型コロナウイルス感染症の影響で支援が必要な学生に対して学内の教職員や企業から寄付のあった食糧を学生に速やかに配布した。											
		A	2	B	5	C	0	D	0				
2	研究に関する目標を達成するための措置	A	7	B	10	C	2	D	0	I	/		
		A	5	B	7	C	1	D	0				
		(会津大学) 全体的に年度計画どおりに取り組み、概ね予定した成果を上げることができた。											
		A	0	B	1	C	1	D	0				
		(会津大学短期大学部) 全体的に年度計画どおりに取り組み、概ね予定した成果を上げることができた。											
		A	2	B	2	C	0	D	0				
(1)	研究水準及び研究の成果等に関する目標を達成するための措置	A	6	B	8	C	2	D	0	I	【会津大学】 研究力強化の観点から、講座制の廃止を決定し、クラスターモデルにより研究活動を推進していくこととした。 【会津大学短期大学部】 新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、学会発表の件数が大幅に減少し、目標を達成できなかった。		
		A	5	B	7	C	1	D	0				
		(会津大学) 研究科、学部各部門、各センターにおいて年度計画どおり研究に取り組み、主要学術論文採択数、学術論文引用件数が目標を上回った。											
		A	0	B	1	C	1	D	0				
		(会津大学短期大学部) 基礎的研究、応用的研究、地域実践研究を行い、その成果を公表する取組などを年度計画どおり実施したが、研究活動数は目標値には達しなかった。											
		A	1	B	0	C	0	D	0				
研究の実施体制		(四大・短大共通) 公募型研究費等獲得の取組を年度計画どおり実施し、公募型研究費の獲得件数及び獲得額は目標を大きく上回った。											
		A	1	B	2	C	0	D	0				

	(2)	等に関する目標を達成するための措置	(四大・短大共通) 研究に必要な施設・設備の適切な維持管理、学内研究費の効果的な見直し、研究費適正執行に関する取組を年度計画どおりに実施した。						II	メール、ウェブ、教職員・学生用ストレージ等のシステム整備に努めた。		
	3	国際化に関する目標を達成するための措置	A	2	B	3	C	0	D	0	I	
			(会津大学) 全体的に年度計画どおりに取り組み、ほぼ予定した成果を上げることができた。全学生数に対する外国人留学生数の割合は目標値を大きく上回る実績となった。									
第2		地域貢献・東日本大震災等の復興支援に関する目標を達成するためにとるべき措置	A	14	B	12	C	1	D	0	I	
			A	10	B	10	C	1	D	0		
			(会津大学) 全体的に年度計画どおりに取り組み、概ね予定した成果を上げることができた。									
			A	4	B	1	C	0	D	0		
			(会津大学短期大学部) 全体的に年度計画どおりに取り組み、概ね予定した成果を上げることができた。									
			A	7	B	1	C	0	D	0		
			(四大・短大共通) 全体的に年度計画どおりに取り組み、概ね予定した成果を上げることができた。									
1		地域社会等との連携・協力に関する目標を達成するための措置	A	7	B	7	C	1	D	0	I	
			A	4	B	6	C	1	D	0		
			(会津大学) 一般市民向けの公開講座、先端ICT人材育成、協定締結自治体や県立医科大学との連携した取組などを年度計画どおりに実施した。ロボット事業における県内企業への還元やAOI会議の県内への展開は計画を上回って実施できた。									
			A	3	B	0	C	0	D	0		
			(会津大学短期大学部) 一般市民向けの公開講座、地域活性化センターを中心とした地域との協働・連携などの取組を年度計画どおりに実施し、協働・連携数及び派遣講座数ともに目標値を上回った。									
			A	0	B	1	C	0	D	0		
			(四大・短大共通) 新型コロナウイルス感染症対策のため、施設の外部への貸出を原則中止としたため、利用件数及び使用料収入は前年度同様、減少している。									
2		地域産業の振興に関する目標を達成するための措置	A	3	B	1	C	0	D	0	I	
			(会津大学) 「女性のためのITキャリアアップ塾」の運営を通じた県内就労支援、大学発ベンチャー認定企業への支援などの取組を計画どおりに実施した。女性のためのITキャリアアップ塾と新たな大学発ベンチャー企業の認定は目標値を上回る実績となった。									
3		復興支援に関する目標を達成するための措置	A	4	B	4	C	0	D	0	I	
			A	3	B	3	C	0	D	0		
			(会津大学) AOI会議の積極的な開催、県立医大や県警本部と連携した取組、ロボット人材育成などの取組を計画どおりに実施した。先端ICTラボのクラウド利用率は目標値を下回ったものの、AOI会議の開催回数は目標値を上回る実績となった。									
			A	1	B	1	C	0	D	0		
			(会津大学短期大学部) 大熊町立小・中学校への支援、地域との協働連携の取組を計画どおりに実施した。復興支援に関する地域との協働・連携事業件数は目標を達成した。									
管理運営の改善			A	6	B	33	C	0	D	0		
			A	0	B	5	C	0	D	0		

第3	及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置	(会津大学) 全体的に年度計画どおりに取り組み、概ね予定した成果を上げることができた。	A	1	B	3	C	0	D	0	II	
		(会津大学短期大学部) 全体的に年度計画どおりに取り組み、概ね予定した成果を上げることができた。	A	5	B	25	C	0	D	0		
		(四大・短大共通) 全体的に年度計画どおりに取り組み、概ね予定した成果を上げることができた。	A	2	B	8	C	0	D	0		
1	業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置	(四大・短大共通) 全体的に年度計画どおりに取り組み、ほぼ予定した成果を上げることができた。	A	2	B	8	C	0	D	0	II	
(1)	組織運営の改善に関する目標を達成するための措置	(四大・短大共通) 教職員の行動規範の周知徹底、職員採用方針による採用活動、職員研修等の取組を計画どおり実施した。	A	0	B	8	C	0	D	0	II	教職員が文部科学省主催の情報セキュリティ関係研修に参加し、情報収集等に努めた。
(2)	事務等の効率化・合理化に関する目標を達成するための措置	(四大・短大共通) ペーパーレス会議などの取組を計画どおり実施した。コピー用紙購入量は計画を上回って目標を達成した。	A	2	B	0	C	0	D	0	I	コピー用紙購入量を、前年度比6.3%削減した。
2	財務内容の改善に関する目標を達成するための措置	A	1	B	6	C	0	D	0	II		
		A	0	B	1	C	0	D	0			
		(会津大学) 全体的に年度計画どおりに取り組み、概ね予定した成果を上げることができた。	A	0	B	1	C	0	D			0
		(会津大学短期大学部) 全体的に年度計画どおりに取り組み、概ね予定した成果を上げることができた。	A	1	B	4	C	0	D			0
		(四大・短大共通) 全体的に年度計画どおりに取り組み、概ね予定した成果を上げることができた。	A	1	B	3	C	0	D			0
(1)	外部研究資金等の自己収入の増加に関する目標を達成するための措置	A	0	B	1	C	0	D	0	I	産学イノベーションセンターの研究開発室、ブース型オフィスともに満室で、研究開発室を1室増室した。使用料収入は、年度計画を上回る2,990万円となった。なお、講堂や体育施設は、新型コロナウイルス感染症対策のため外部貸出は原則中止している。	
		(会津大学) 講堂・講義室・UBIC・先端ICTラボの施設の貸出により、収入増加のための取組を実施した。UBIC及び先端ICTラボ施設利用料は目標値を大きく上回ったが、講堂等の施設使用料は新型コロナウイルス感染症対策のために、外部貸出を原則中止としたことから使用料収入が減少した。	A	0	B	1	C	0	D			0
		(会津大学短期大学部) 寄附金確保のための取組を計画どおり実施し、学生表彰規定に基づき奨学金を支給した。	A	1	B	1	C	0	D			0
		(四大・短大共通) 保有する技術の発信のためのシーズ集作成や学生支援のための寄付金受入の取組を計画どおり実施した。	A	0	B	3	C	0	D			0
		経費の抑制に関	A	0	B	3	C	0	D			0

(2)	する目標を達成するための措置	(四大・短大共通) 財務状況分析や法人会計制度の研修など、計画どおり実施した。各種研修会・勉強会など職員の資質向上の機会を多数設け、職員の資質向上を図った。							II	会津大学では、業務の効率化を図った。		
3	自己点検・評価及び情報の提供に関する目標を達成するための措置	A	0	B	7	C	0	D	0	II	/	
		(四大・短大共通) 全体的に年度計画どおりに取り組み、概ね予定した成果を上げることができた。										
(1)	評価の充実に關する目標を達成するための措置	A	0	B	5	C	0	D	0	II	教員評価システムについて、データ可視化の手法を検討した。	
		(四大・短大共通) 法人の自己点検評価等の取組や事務職員等の人事評価を県の制度を準用して運用した。										
(2)	情報発信の推進に関する目標を達成するための措置	A	0	B	2	C	0	D	0	II		
		(四大・短大共通) 適切な情報公開、大学の幅広い活動の情報発信の取組を計画どおり実施した。										
4	その他業務運営に関する目標を達成するための措置	A	3	B	12	C	0	D	0	II	/	
		A	0	B	4	C	0	D	0			
		(会津大学) 全体的に年度計画どおりに取り組み、概ね予定した成果を上げることができた。										
		A	1	B	2	C	0	D	0			
		(会津大学短期大学部) 全体的に年度計画どおりに取り組み、概ね予定した成果を上げることができた。										
		A	2	B	6	C	0	D	0			
(四大・短大共通) 全体的に年度計画どおりに取り組み、概ね予定した成果を上げることができた。												
(1)	法令遵守に関する目標を達成するための措置	A	1	B	1	C	0	D	0	II	コンプライアンスの遵守、研究倫理教育については、力を入れて取り組む必要がある。	
		(四大・短大共通) 教職員のコンプライアンス遵守のための研修や研究不正防止規定の改定に取り組み、概ね計画どおり実施した。										
(2)	施設設備や情報通信基盤の整備活用等に関する目標を達成するための措置	A	2	B	4	C	0	D	0	II	【会津大学】 図書館では、イベントを開催する等により、学生の英語力アップに貢献した。 【会津大学短期大学部】 南棟・体育館トイレ改修工事、暖房設備更新(2期)工事、フェンス更新工事等を実施した。	
		A	0	B	2	C	0	D	0			
		(会津大学) セキュリティ対策や附属図書館の利用環境整備に取り組み、ほぼ計画どおり実施した。										
		A	1	B	1	C	0	D	0			
		(会津大学短期大学部) セキュリティ・インシデントの注意喚起や図書館の狭隘化対策の取組を計画どおり実施した。										
		A	1	B	1	C	0	D	0			
(四大・短大共通) 施設修繕計画に基づいた施設整備や短大学生寮の生活環境の維持・改善の取組を計画どおり実施した。												

(3)	健康管理・安全管理に関する目標を達成するための措置	A	0	B	7	C	0	D	0	II	【会津大学】 学生の健康診断受診率向上のため、受診日数の拡大、看護師面談のオンライン化、事前予約システムの採用等を行ったが、受診率は83.3%となった。 【会津大学短期大学部】 学生の全項目未受診者は0名となった。		
		A	0	B	2	C	0	D	0				
		(会津大学) 教職員及び四大学生の健康診断受診率を高める取組をほぼ計画どおり実施したが、教職員の再検査受診率は低い結果であった。											
		A	0	B	1	C	0	D	0				
		(会津大学短期大学部) 学生の健康診断受診率を高める取組を計画どおり実施した。											
		A	0	B	4	C	0	D	0				
(四大・短大共通) 教職員のメンタルヘルスチェックを行い、職員の心のケアに取り組むとともに、防災・防犯設備の法定点検や巡回・点検を行い、安全管理体制を維持した。													
(4)	新型感染症を始めとする重大なリスクに対する措置	A	0	B	0	C	0	D	0				
		(四大・短大共通)											

総計	A	44	B	124	C	3	D	0
四大	A	24	B	71	C	2	D	0
短大	A	12	B	23	C	1	D	0
共通	A	8	B	30	C	0	D	0